



社会資本整備審議会 道路分科会  
第15回国土幹線道路部会

資料1

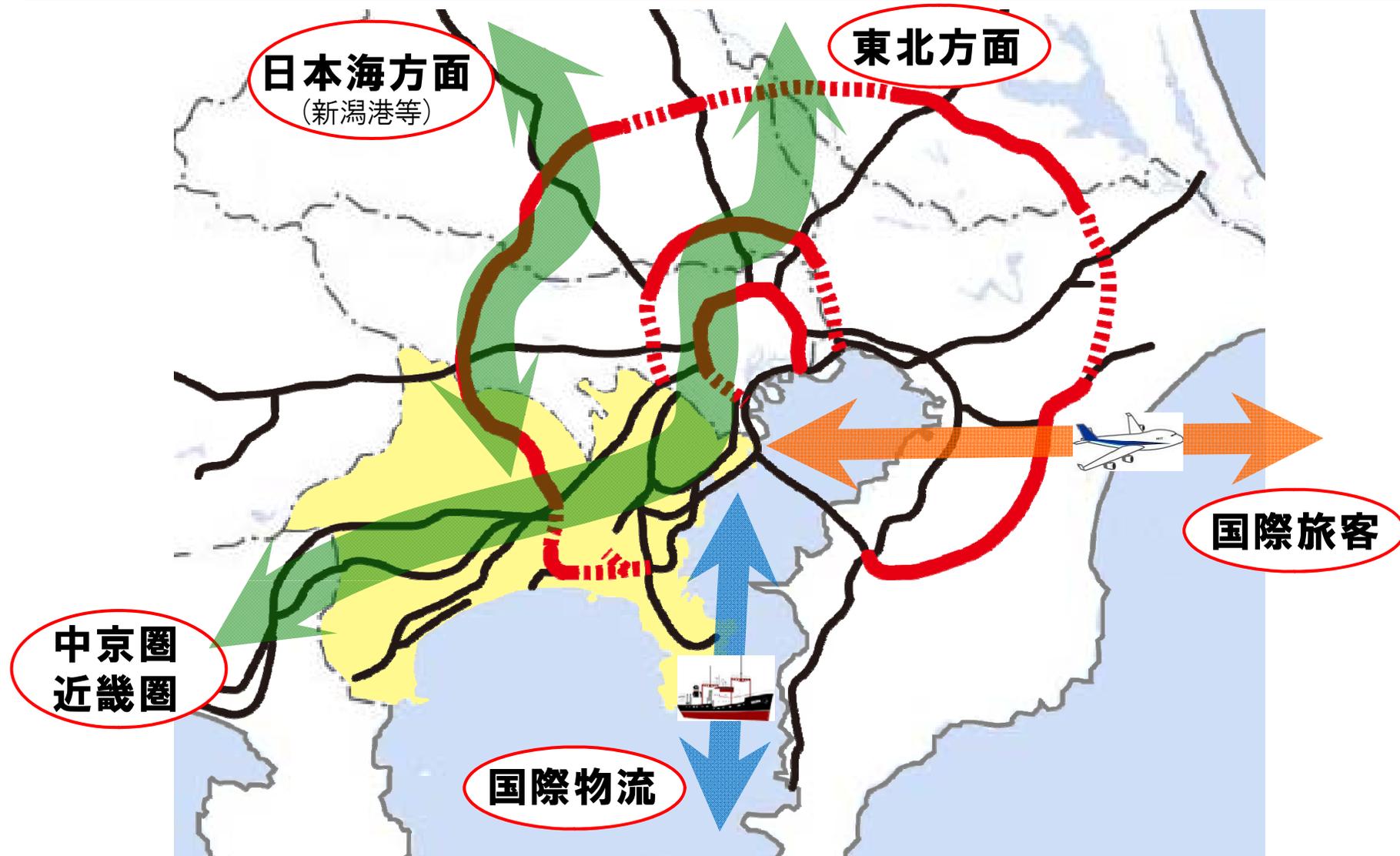
# 道路をフル活用し、日本経済を牽引！

平成26年10月21日

神奈川県知事 黒岩 祐治

# 神奈川は首都圏の玄関口

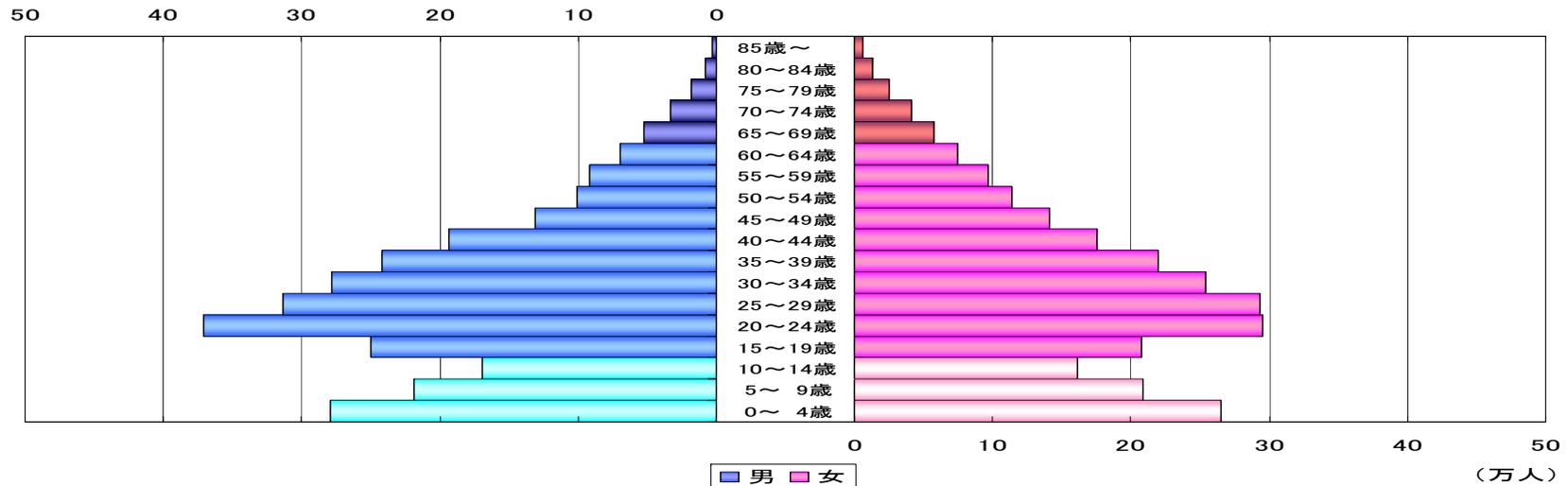
首都圏は国内外からの人・モノの結節点！  
三環状道路などネットワークの形成が重要！



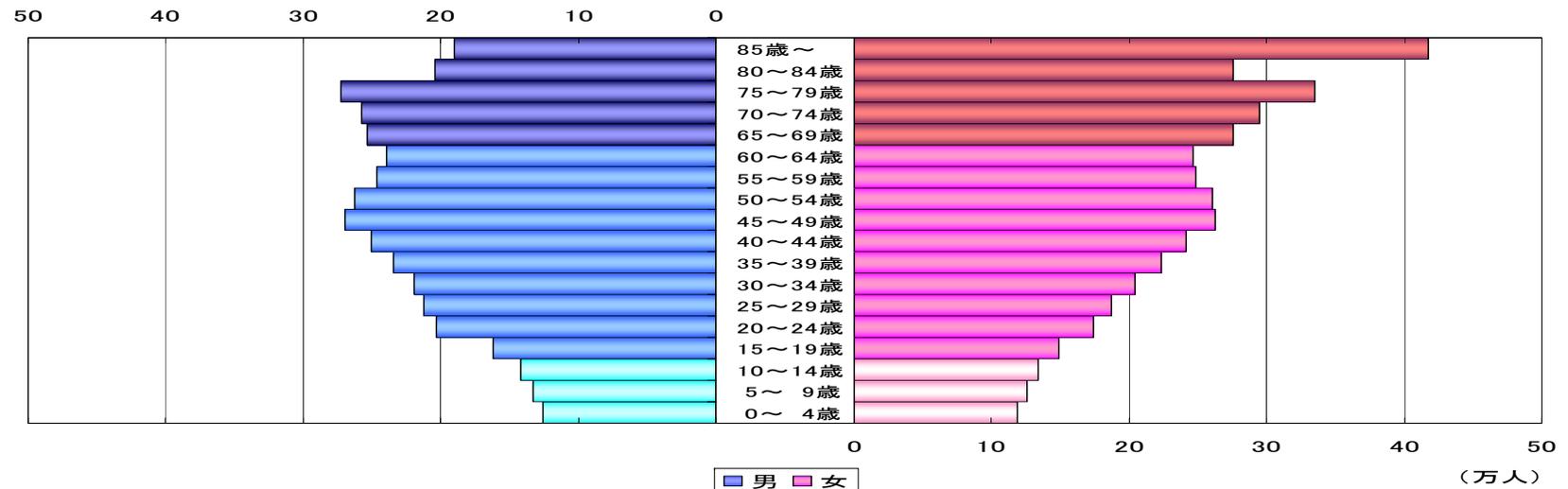
# 神奈川の取組み

# 超高齢社会の到来

## ◆1970(昭和45)年 総人口 574万人



## ◆2050(平成62)年 総人口 806万人



※出典 「かながわグランドデザイン 基本構想(平成24年3月)」

# (1)ヘルスケア・ニューフロンティア

## 2つのアプローチを融合

### 最先端医療・ 最新技術の追求

iPS細胞研究



生活支援  
ロボット



マイカルテ



個別化医療の実現

### 未病を治す

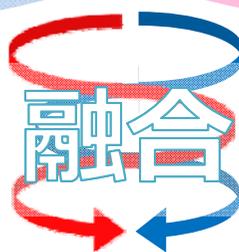
運動習慣奨励

医食農同源



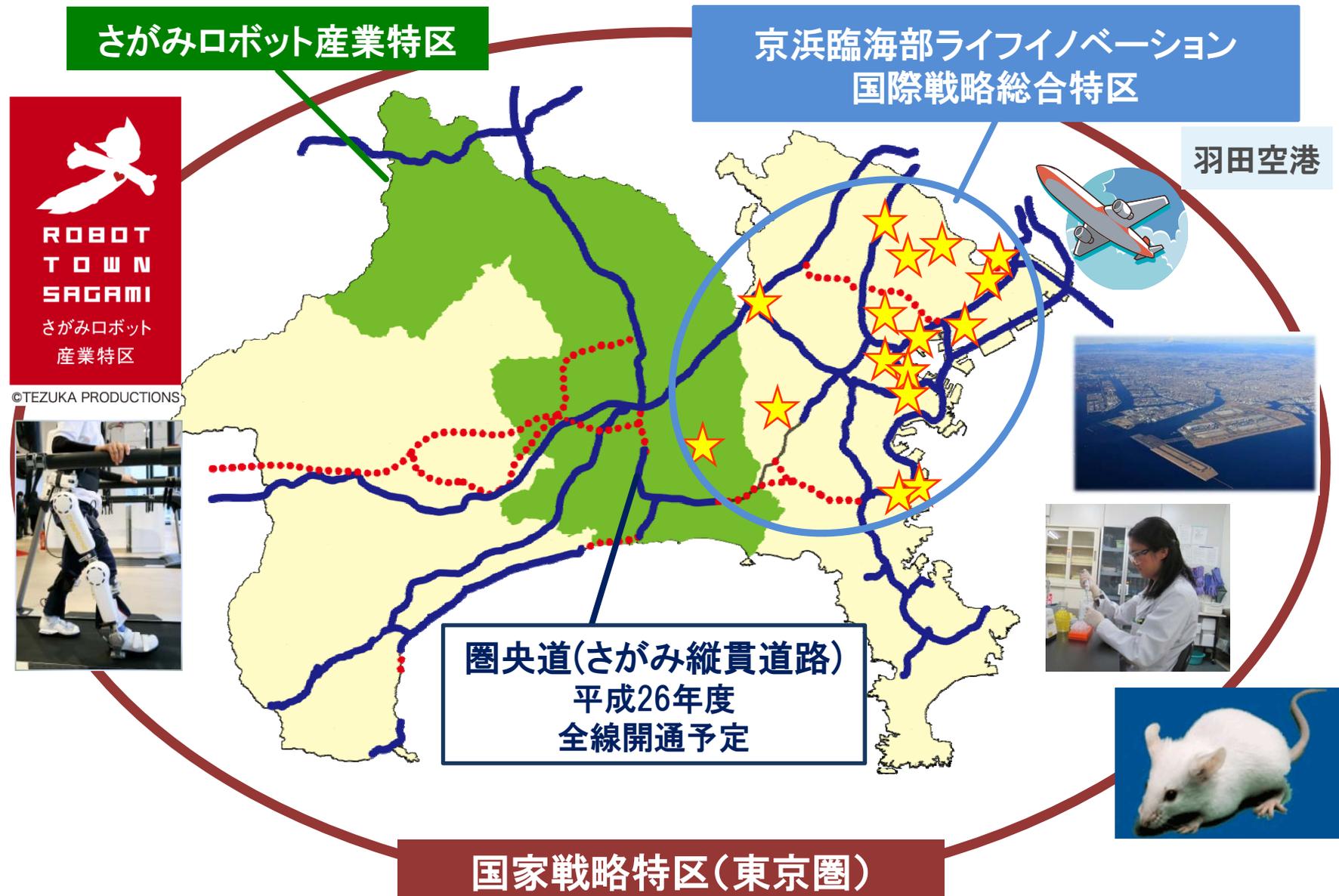
等

ライフスタイルの見直し



健康寿命日本一 新たな市場・産業の創出

# (2) 3つの特区は経済のエンジン



## (3) かながわ シーププロジェクト

マリンスポーツを柱として、湘南の海をアピール！  
海のない地域から人を呼び込む！



# (4) 新たな観光の核づくり

横浜・鎌倉・箱根に続く、  
魅力的な国際観光地を創出！

**大山**  
大山阿夫利神社: 伊勢原市

**横浜**  
みなとみらい21  
: 横浜市

**大磯**

**鎌倉**  
鎌倉大仏: 鎌倉市

**箱根**  
芦ノ湖: 箱根町

**城ヶ島・三崎**  
城ヶ島(馬の背洞門)  
: 三浦市

# 経済や観光を支える『道路のフル活用』



# 道路のフル活用

1. つなげる

2. わかりやすい

3. つかいやすい



# 『つながるべき道路』はつなげるべき

- <凡例>
- : 供用済路線
  - : 計画・事業中路線
  - ⇄ : 構想路線



東京オリンピック・パラリンピック開催も視野に入れ、道路ネットワークの整備を促進

# 道路のフル活用

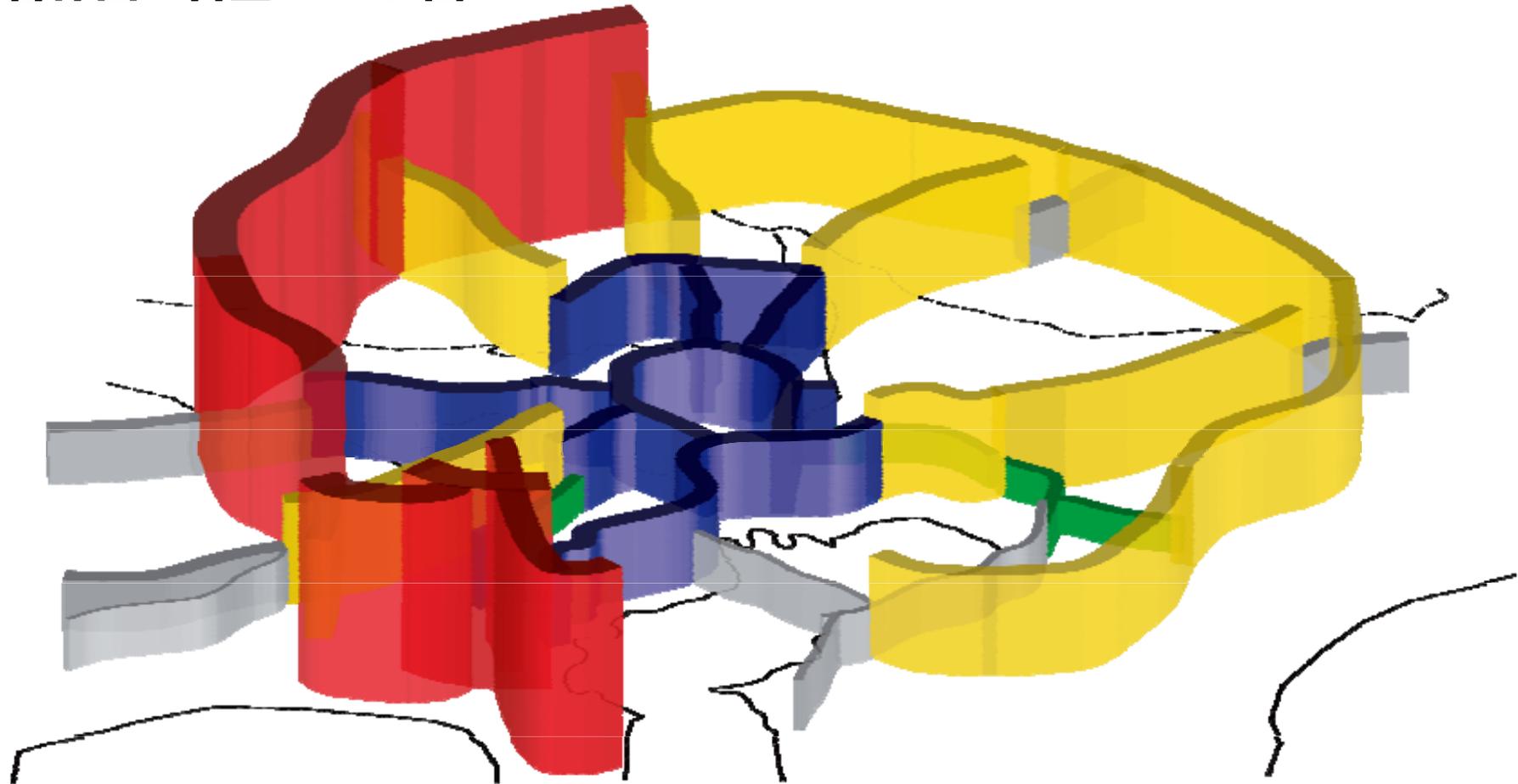
1. つなげる

**2. わかりやすい**

3. つかいやすい

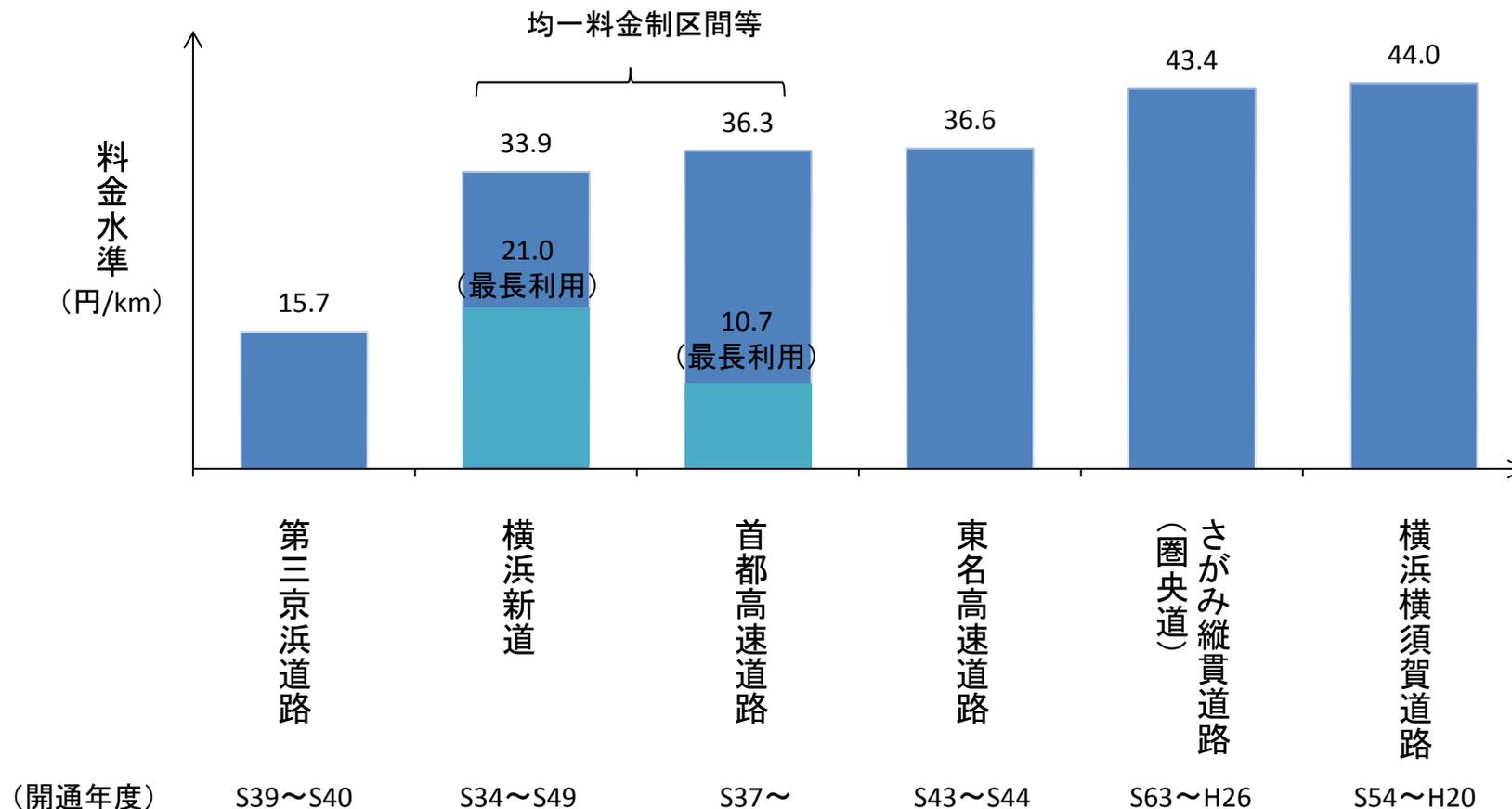
- 圏央道が割高  
⇒ 環状道路としての機能が発揮されない

## <首都圏の料金イメージ図>



# 神奈川県的主要料金水準の現状

- 料金格差が大きく、不公平感がある
  - ⇒ 特に、圏央道や横浜横須賀道路などは割高



注1) 料金水準は、普通車・定価・税込料金 ※割引等は考慮していない

注2) 県内でIC等の区間距離が最大となる区間で算出

ただし、横浜新道及び首都高速道路は全路線の平均利用距離及び最長利用距離を元に、東名高速道路は東京IC～厚木IC間を元に、さがみ縦貫道路(圏央道)は海老名IC～高尾山IC間を元に算出

わかりやすい

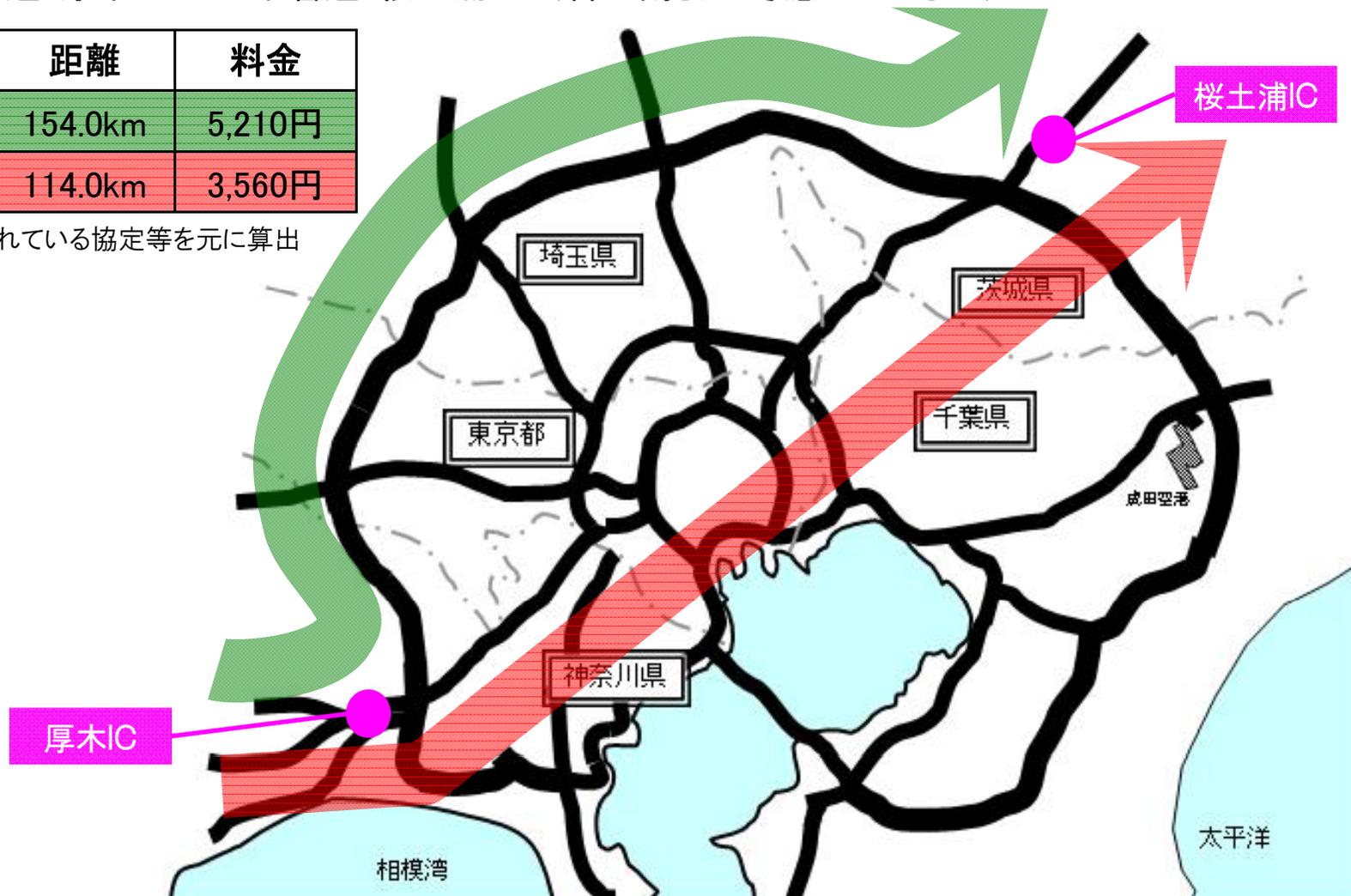
# 同一発着地点での料金差

- 発着地点が同一であっても、経路により料金が異なる  
⇒ 割安な経路に交通が集中し、渋滞解消につながらない

(例) 東名高速・厚木IC ~ 常磐道・桜土浦IC (料金割引は考慮していない)

経路選択	距離	料金
圏央道	154.0km	5,210円
首都高	114.0km	3,560円

※公表されている協定等を元に算出



- ① 圏央道、横浜横須賀道路等の割高感を解消しつつ、首都圏の渋滞解消につながる料金水準の整理が必要
- ② 同一発着地点の料金は利用経路によらず同一の料金であるべき  
※その際は利用経路を選択できる情報提供が必要
- ③ 物流効率化や観光振興などへの配慮も重要

# 道路のフル活用

1. つなげる

2. わかりやすい

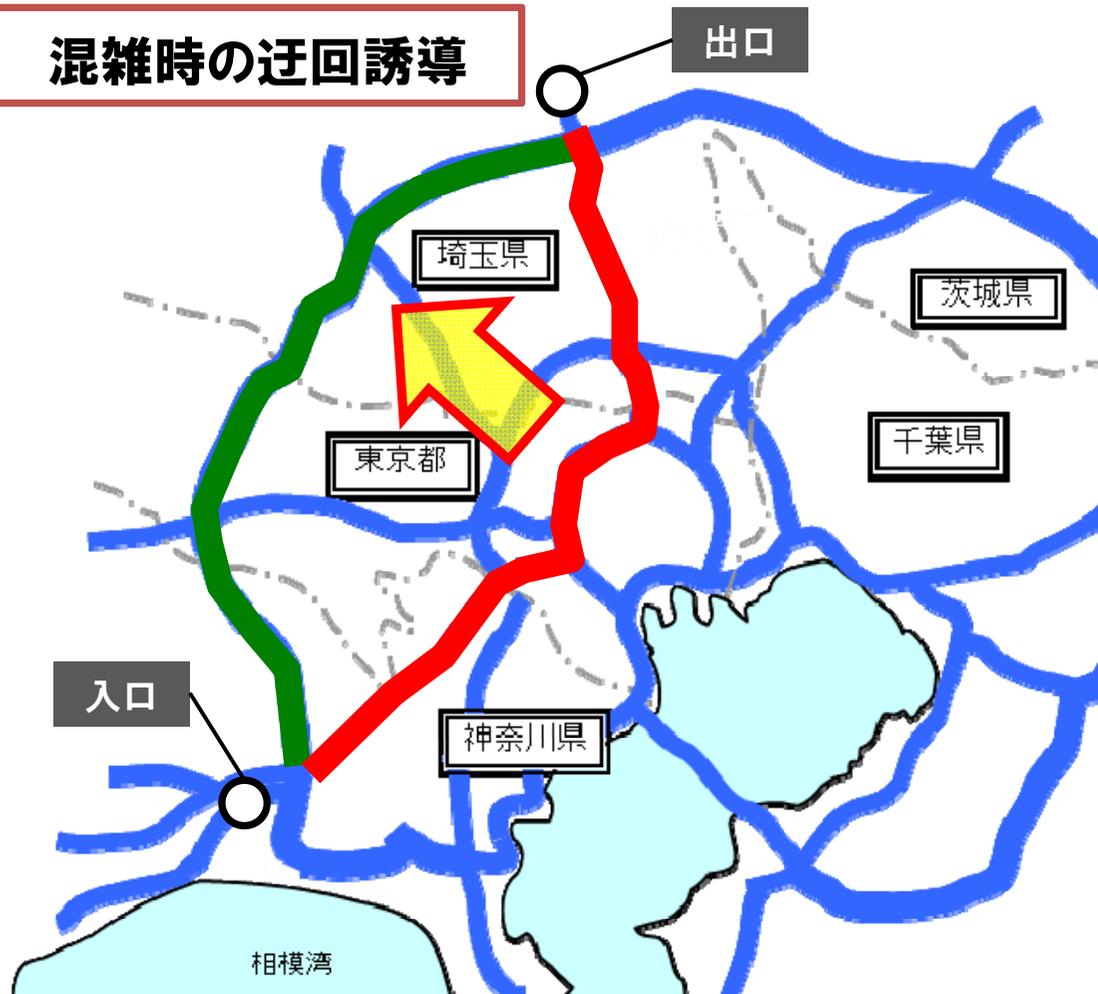
**3. つかいやすい**

つかいやすい

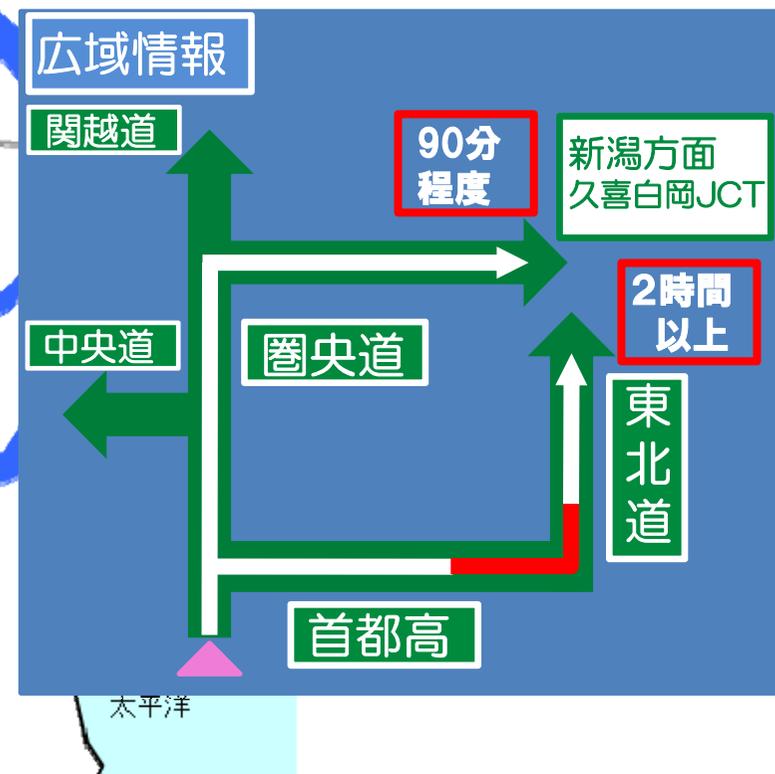
# 的確な情報提供

- 道路利用者の賢い経路選択を促す  
⇒ 広域交通情報をリアルタイムで配信（ビッグデータの活用）

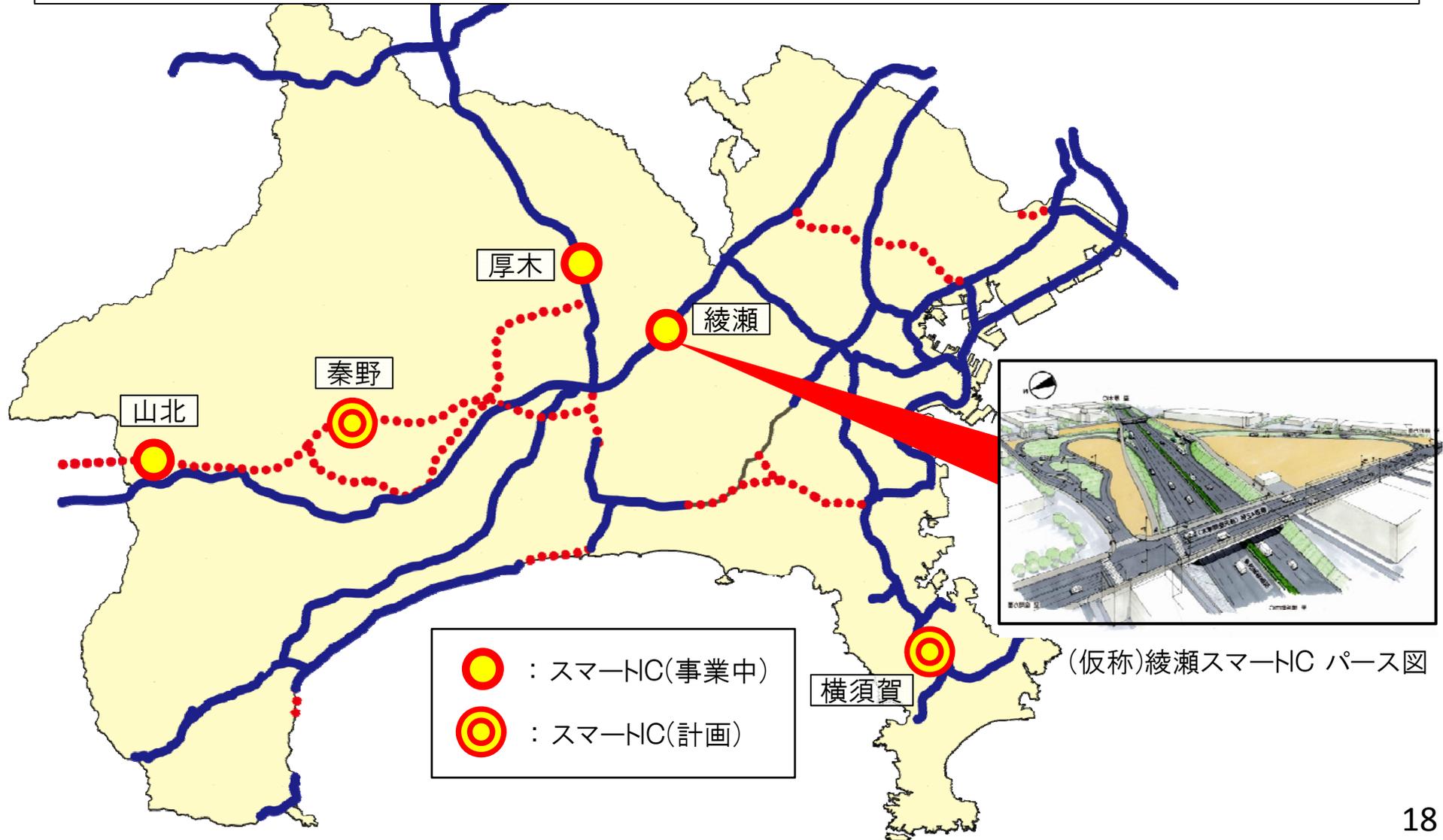
## 混雑時の迂回誘導



## <カーナビへの表示内容(例)>



- 高速道路を「賢く使う」  
⇒ スマートICの設置は有効



(仮称)綾瀬スマートIC パース図

# 高速道路の渋滞対策

- 高速道路では、慢性的に渋滞が発生  
⇒ 交通容量の確保が必要

